

令和5年度 家庭教育オピニオンリーダー研修⑥ 実施報告

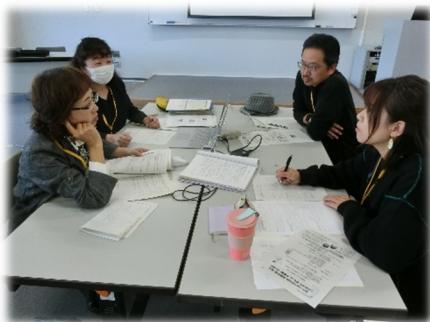
実施日：令和5年10月31日（火）

○ グループ協議「家庭教育支援の取組に向けて②」

総合教育センター生涯学習部職員

前回に引き続き、子育てを行う上での現状と課題を踏まえ、自分たちが取り組みそうな家庭教育・子育て支援の活動について考えました。どのグループも、前回考えた活動案を基にして、活動の対象者や時期、場所だけでなく、連携先や留意点も示すなど、それぞれの活動案の実現可能性を高めていきました。協議の最後には、発表の役割分担やリハーサルなども実施しました。

この協議を経て完成した活動案には、内容や期待される効果などが具体的に記されており、企画した活動を是非実現させたいという受講者の思いが表れていました。



○ 発表「家庭教育支援の取組に向けて②」並びに閉講式

総合教育センター生涯学習部職員

研修全体のまとめとして、グループごとに考えた活動案の発表会を開きました。どのグループも、短時間で協議の成果を分かりやすく伝えていました。また、発表後には、参観していた栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会の方々から、それぞれの活動案に対する期待の言葉や実践する上でのアドバイスが多数送られました。

発表会后、家庭教育オピニオンリーダー連合会支部長と受講者との情報交換会が和やかな雰囲気の中で行われました。続いて行われた閉講式では、受講者に修了証が授与され、6日間の研修が無事終了しました。研修を修了した23名の皆様には、研修で得た学びや気づきを生かし、地域に根ざした家庭教育支援の実践者として今後活躍することを期待しております。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・どの班の発表も「人のつながり」「交流の場」など目指すところは一緒だと感じました。手段の違いはあれど、多くの人に子育てに関わってもらう活動が必要だと思いました。
- ・グループ協議をすることで、自分では思いつかない考えや表現に気付くことができました。年齢や性別を超えたつながりがもてたことが貴重な経験でした。
- ・県内の色々な地域の方とのつながりができて、視野が広がり、大変ありがたく感じています。
- ・発表会では実行性が高そうなアイデアをたくさん聞けて、今後の意欲につながりました。
- ・地域の実情により家庭教育の課題も少し違っているところもあると思いますので、様々なアイデアのよさを生かして活動を考えたいと思います。
- ・他の組織と連携し有意義な活動にするために、アンテナを高くしネットワークを広げていきたいです。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp